ULVAC

取扱説明書

水冷バッフル

BW-10　BW-14

BW-20　BW-22

BW-36　BW-52

この製品をご使用になる前に必ずお読み下さい。また、

いつでもご使用できるように大切に保管して下さい。

株式会社アルバック

規格品事業部

http://www.ulvac.co.jp/

本製品を使用する前に

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品がお手元に届きましたら、念のため、ご注文の内容と同一であることおよび、輸送等による破損がないことをご確認下さい。

このマニュアルには、本製品を安全にかつ性能を有効にご利用いただくために、適切な取扱方法および適切な保守方法について記載しています。事前に本取扱説明書をお読みいただき、ポンプを正しくお使いください。

本製品を取り扱うには、ご使用になられる国や地域の安全に関する規則や法令（例えば消防法、電気配線規定など）に従って設置および運用をしてください。従って、ご使用になられる国や地域で公的に有効とされている一般的な安全教育(電気安全、荷役安全など)を受講する必要があります。安全教育を受けていない方は、絶対に取り扱わないでください。オペレーターは、それらのトレーニングを受けている必要があります。また、電気、機械、荷役、真空などに関する専門知識および技能、資格が必要です。

本製品は、このマニュアルが作成された現在の規則に適合するように設計されています。将来的にわたって規則の基準が変更された場合、その適合性を保障するものではありません。

本製品が組み込まれる装置が同じ規則に適合していない場合や、この製品自体に変更が加えられた場合には、その性能と安全性を確保できない場合があります。ULVACはそのような場合の性能、安全の保証（責任）はできません。

お客様による製品の改造は、当社の保証範囲外ですので責任は負いません。

本製品の設置および取り外し作業を行う前には、すべてのエネルギー源(電気など)から製品を分離してください。

本製品に使用されている一切の部品は、納入時の性能を維持しながら永久的に継続使用できるものではありません。社会通念上想定される使用状況下に於いても、一定期間経過に伴い、必然的に性能に劣化が生じ、製品のトラブルを発生させやすくなります。お客様において、お客様ご自身の使用状況を勘案の上、トラブルを回避する予防保全の実現へのご協力をお願い申し上げます。

予防保全措置へご協力いただきますと、部品の磨耗故障に起因する本製品トラブルの発生確率を低減でき、ひいては本製品トラブルに起因するダウンタイムおよび火災や他工程への影響等といった危険の発生確率を低減できます。

重ねて予防保全の観点から、保守点検計画の構築およびそれに合わせた部品交換やオーバーホール実施をお願い申し上げます。

取り扱う上で不明な点などがありましたら最寄りの営業所、代理店または弊社規格品事業部にご連絡ください。

・安全シンボルマーク

この取扱説明書の警告表示には守るべき事項を理解していただくため、安全についてのシンボルマークを揚げております。シンボルマークに用いている言葉は次のように使い分けています。

⚠ 危 険	**取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷になる差し迫った可能性を示しています。**

⚠ 警 告	**取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷になる可能性を示しています。**

⚠ 注 意	**取り扱いを誤った場合、使用者が中程度の傷害を受けるか、機械の重大な損傷につながる可能性を示しています。 機械の損傷を起こしたり、正常な動作を損ねる可能性を示しています。**

安全上の注意事項

作業項目別に危険を回避するための方法と危険なためやってはならない行動を示します。

本製品のお取扱、ならびに本取扱説明書について

重要	**本製品を末永くご利用頂くために、本製品の取付、操作、点検あるいは整備をする前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、安全上の注意、本製品の仕様及び操作方法に関わる事項を十分に理解して下さい。**

⚠ 危 険	**排気口をふさいだり、排気口側にガスの通過を妨害する機器を付けた状態で、真空ポンプを運転しないで下さい。真空ポンプ内圧が上昇して、ケーシングやオイルレベルゲージが破裂したり電動機が過負荷になるおそれがあります。**

⚠ 危 険	**本機を有機溶剤等で洗浄する場合には、労働安全衛生法、有機溶剤中毒予防規則等の関連法令に準拠して行って下さい。 酸欠を起こす恐れがありますので、法令に基づき十分換気して下さい。**

警 告

修理技術者以外の人は、絶対に分解、修理、改造を行わないで下さい。
発火または異常動作してけがをすることがあります。

警 告

使用前に、接続箇所のリークテストを実施してください。有毒および可燃性ガスを真空ポンプで排気する場合、漏れることがあります。ガスの種類に応じた適切な対策を講じて下さい。

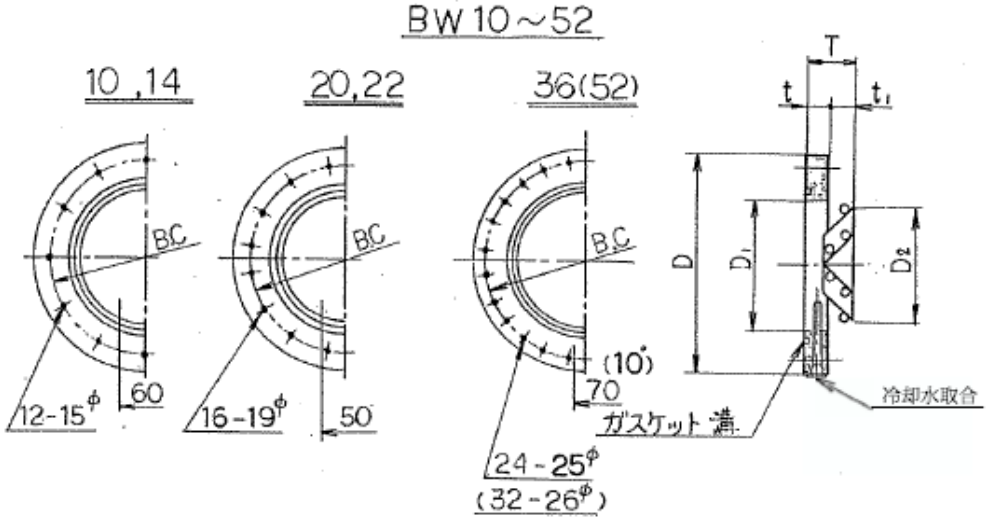
警 告

有毒ガスの排気に使用した場合、本体等ガスの接触箇所は有害になります。
メンテナンス時にはご留意下さい。

注 意

異常がある場合は事故防止のため、すぐに使用をやめ、ご注文先・アルバックテクノもしくは当社に必ず点検・修理をご依頼下さい。

水 冷 バ ッ フ ル



呼ビ / 仕様	B　W		
	10	14	20
D	φ350	φ450	φ625
D1	φ260	φ360	φ508
D2	φ240	φ336	φ490
B・C	φ320	φ420	φ585
T	39	45	152
t	22	22	24
t1	17	23	128
ガスケット溝	φ291×φ275×4.5	φ396×φ380×4.5	φ554×φ530×7
冷却水取合	Rp3/8	Rp3/8	Rp3/8
冷却水量	2～4 L/min	2～4 L/min	3～9 L/min
コンダクタンス L／sec	3130	5000	13000
重量ｋｇ	7.6	11.0	22

呼ビ / 仕様	B　W		
	22	36	52
D	φ680	φ1065	φ1480
D1	φ570	φ924	φ1340
D2	φ550	φ890	φ1290
B・C	φ640	φ1015	φ1430
T	101	113	165
t	26	28	35
t1	75	85	130
ガスケット溝	φ609×φ585×7	φ974×φ950×7	φ1389×φ1360×8.5
冷却水取合	Rp3/8	Rp3/8	R p3/8
冷却水量	3～9 L/min	5～9 L/min 以上	5～13 L/min
コンダクタンス L／sec	14000	54000	75000
重量ｋｇ	28	66	200

材質：本体……軟鋼 Ni メッキ

バッフル…銅 Ni メッキ（BW－22,36,52 は軟鋼 Ni メッキ）

Ⅰ　概　要

本バッフルは油拡散ポンプ、油拡散エゼクターポンプの吸気口直上に設置することにより、これら蒸気噴射ポンプの油蒸気の逆流を防ぎ油蒸気の少ない真空を作るためのコンポーネントです。

排気速度をより有効に得るために十分大きなコンダクタンスを有しています。
また、高真空でも十分使用できるように表面からの放出ガスの少ない表面処理を施しています。

Ⅱ　取　付

１．点　検

荷造をとかれましたら下記のことをお確かめ下さい。

(1)ご要求の製品と一致しているかどうか
(2)付属品（アダプター、O リング）は所定のものが付いているかどうか
(3)輸送中に破損した箇所がないか

もし、不具合な点がございましたら、早速当社営業所までご連絡下さい。

２．取　付

(1)水冷バッフルを有機溶剤にて十分洗浄した後、自然乾燥を行って下さい。
アダプターを必要とする場合にも同様に洗浄して下さい。

(2)ポンプ吸気口に取付け、その上に水冷バッフルをのせた後、通しボルトでポンプ及び水冷却バッフルを固定して下さい。ULK－10A、14A に BW－10、14 を取付ける場合には、ポンプと水冷バッフルの間にアダプターをはさみ込んでから固定して下さい。PBL-10、14、20 に取付ける場合は、標準のバッフルは外して下さい。

ノート１：O リングや高真空にさらされる部分の取扱いにはナイロン製の手袋を着用して下さい。

ノート２：O リング表面にはアピエゾン L のような低蒸気圧のグリースがあっても塗布しないで下さい。

ノート３：ボルトは相対する２個のボルトを逐次適切なトルクで締め付けて下さい。

ノート４：シール面に傷が付いたり、異物がはさまらないよう注意して下さい。

３．冷却水配管

（1）適切なホース又はチューブで配管して下さい。

（2）冷却水圧力３kg／cm² G です。

ノート１：冷却水温度は20℃以下が望ましい。出来るだけ低い温度の冷却水を流して下さい。

ノート２：冷却水には軟水を御使用下さい。また循環水等を使用するために冷却水中の水アカ・ダストが多い場合には、ストレーナを取付けて下さい。

ノート３：冬季長期通水せずに保管する場合には、凍結する場合がありますので、水却バッフル内の水を圧空などで抜いて下さい。

ノート４：冷媒等で冷却する場合には、バッフル表面温度が油の流動点以下になりますと、トラップされた油がポンプに戻らず油不足になることがありますのでご注意下さい。

４．保　守

（1）油拡散ポンプ、油拡散エゼクダーポンプの油交換、又はオーバーホール時に、水冷バッフルを取外し有機溶剤に洗浄して下さい。

（2）ポンプ油が異常加熱等で油劣化した場合にも水冷バッフルの洗浄を行うようお奨めします。

（3）水漏れが無いかどうか点検して下さい。

５．保証条項

（1）本商品の保証期間は御購入より１年間です。

（2）正常な御使用状態で万一保証期間内に事故が発生した場合には、無償で修理させていただきます。

正常な御使用状態と以下の条件とします。

イ）運転雰囲気温度：１０～４０℃

ロ）排気ガス：乾燥空気又は乾燥窒素

ハ）取扱説明書に従った運転

（3）保証期間内でも、次の場合に限って有償修理となります。

イ）天災・地変や火災による故障の場合

ロ）塩害・公害等の特殊雰囲気による故障の場合

ハ）使用条件が取扱説明書（性能諸元、保守点検等）に記されているものと異なるためにおこる故障の場合

ニ）弊社技術員によって、本商品の使用条件にあわないために発生した故障と判断された場合。

様式番号：A00315268-01-00

アルバック　コンポーネント　汚染証明書

本紙はアルバック製コンポーネントの返却を行なう際の汚染証明書となります。
弊社に貴社保有の機器のお送りいただく前に、本書をご記入の上、作業依頼先又は各担当営業所にご提出願います。
尚、有毒ガス使用品･反応生成物質付着品に付きましては事前に作業依頼先又は各担当営業所までお問合せ願います。

商品名　　：
型式　　：
S/N　　：
用途　　：
依頼内容
（返却理由、使用状況、特記事項など）

汚染物質（□部の**該当**箇所にチェックをお願いします。）

□ 上記製品は、有害物質によって汚染されてないことを保証します。
□ 上記製品は、以下の有害物質によって汚染されています。

	汚染物質名(分子式)	特性
1		
2		
3		
4		
5		

アルバック　行

貴社の窓口となった担当者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日

御客様･会社名
所属部署
御担当者　　印
TEL
FAX
E-mail

※弊社への輸送中及びコンポーネント分解中に発生した汚染物質による事故につきましては､御客様の責となりますので梱包及び汚染物質確認には充分注意して下さい。また、**汚染物質、及び汚染状況によっては、作業をお断りさせて頂き、御客様に御返却させていただきます。**

アルバック処理欄 SDS 請求：有／無	受付印	
指図番号		

株式会社アルバック
http://www.ulvac.co.jp/

サービス拠点一覧
http://www.ulvac.co.jp/support_info/service/

販売拠点一覧
http://www.ulvac.co.jp/support_info/sales_office/

ulvac . co . jp

株式会社アルバック
規格品事業部
神奈川県茅ケ崎市萩園２５００
TEL:0467-89-2261

アルバック販売株式会社
本社（東京）
東京都港区港南２-３-１３
TEL:03-5769-5511

アルバック販売株式会社
大阪支店
大阪府大阪市淀川区宮原３-３-３１
TEL:06-6397-2286

ULVAC ,Inc.
http://www.ulvac.co.jp/en/

Service Centers
http://www.ulvac.co.jp/en/support/service-center/

Sales Offices
http://www.ulvac.co.jp/en/support/sales-offices/

ulvac . co . jp / en

ULVAC, Inc.
Components Division
2500 Hagisono, Chigasaki, Kanagawa, Japan
TEL: +81-467-89-2261

rev4.0